

## 5/31 明日香保育園で「バスの置き去り防止」訓練実施

明日香保育園の3歳児から5歳児クラスの子どもたち全員が、バスやお家の車に取り残されてしまった時を想定して、周囲に助けを求める特別訓練を実施しました。

紙芝居で助けの呼び方を学んだ後、園所有のバスで4つの工程をひとりで実践しました。(①大きな声で3回「助けて」と叫ぶ。②三角マークを探してボタンを押す。(ハザードをつけて外の人に知らせる) ③バスに備え付けの電動ホイッスルを鳴らす。④クラクションを鳴らす。)

特に、クラクションを鳴らす際には、手の力が足りなければお尻、それでも鳴らなければ水筒等固いものを使うなど、何回も練習しました。

ハザードランプのついた車を見つかりクラクションを聞いたりした際には、「もしかしたら子どもたちのSOSかもしれない」と気にかけていただければと思います。



▲確実に音が鳴らせるように練習



▲学習の様子

## 6/6 一般財団法人明日香村地域振興公社へご寄附

4月15日(月)にスーパーエバグリーン飛鳥店をオープンされたエバグリーン廣甚株式会社様から、地域活性と農村景観維持に役立てていただきたいとして、一般財団法人明日香村地域振興公社へ100万円のご寄附をいただきました。



### 【企業紹介】エバグリーン廣甚株式会社

和歌山県有田郡湯浅町に本社を置く小売業等を行う企業であり、地域の発展と活性化の貢献のため、地域社会や自治体と連携し自然環境保全等の取り組みに収益の一部を還元する活動を行っています。

6/24

## 一般財団法人明日香村地域振興公社代表理事就任のご挨拶



盛夏の候、明日香村民の皆さまにはご清祥のこととお喜び申し上げます。  
私、原実は、6月24日（月）付けで一般財団法人明日香村地域振興公社の代表理事を拜命いたしましたこと、謹んでご報告申し上げます。

明日香村の農業は後継者不足や農林商工産物の競争激化により厳しい状況にさらされており、私自身農業経営の厳しさを目の当たりにしております。

このような厳しい状況を打破し、明日香村の農業の活性化を図り、豊かで活き活きた村づくりのため、専心努力する所存でございます。

これまで同様、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

一般財団法人 明日香村地域振興公社 代表理事 原 実

7/1

## 企業版ふるさと納税を活用したご寄附

明日香村では、世界遺産登録推進プロジェクトおよび住み良いむらづくりプロジェクトに対して、企業版ふるさと納税制度を活用した企業からの支援をお願いしています。

当制度を活用し、今年で創立90周年を迎える株式会社南都銀行様からご寄附をいただきました。いただきました寄附金は世界遺産登録推進事業に活用させていただきます。

8/1

## 明日香村地域おこし協力隊の紹介

本村は平成29年4月から過疎地域の指定を受けています。村では過疎地域の制度を活用し、「地域おこし協力隊」を受け入れています。

8月から、農業分野で1名活動していただくことになりました。



【氏名】 徳力一志（とくりきかずし）

【趣味】 神社巡り、音頭

【特技】 武術、武道

【自己紹介】

京都で生まれ、幼い頃から転勤族の父のもと関西圏を転々としていました。その中でも明日香村の風景、空気感に惹かれ暇さえあれば訪れるようになりました。自分自身がこの風景の一員になれることを望むようになり、今回地域おこし協力隊の隊員に採用されたことを嬉しく思っています。

いちから農業従事者として歴史ある明日香村の景観と産業を守っていけるように精進します！